

**1947****Top Secret Documents on the China Situation****Citation:**

"Top Secret Documents on the China Situation", 1947, Wilson Center Digital Archive, National Archives and Records Administration, Record Group 242, National Archives Collection of Foreign Records Seized, 1941-, Records Seized by U.S. Military Forces in Korea, Shipping Advice 2006, Item 11/36. Obtained by Charles Kraus.  
<https://wilson-center-digital-archive.dvincitest.com/document/116526>

**Summary:**

North Korean intelligence on events in the Chinese Civil War.

**Original Language:**

Korean

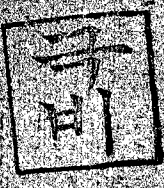
**Contents:**

Original Scan

REPRODUCED AT THE NATIONAL ARCHIVES

호 4

비고



五十四年度

공공관계

10.8

의무성



No. 13 2

대수 113 대

19 49년 7월 22일

1947. 6.22	新解放区中苏两国军事情报	1 — 15
6.15	新解放区中苏两国军事情报	16 — 20
6.17	新解放区中苏两国军事情报	21 — 31
6.18	新解放区中苏两国军事情报	32 — 46
6.27	新解放区中苏两国军事情报	47 — 55
6.25	新解放区中苏两国军事情报	56 — 72
6.30	新解放区中苏两国军事情报	73 — 82
7.4	中苏两国同盟条约	83 — 99
8.7	东北解放	100 — 103
8.1	东北解放	104 — 115

北朝鮮人民委員會外務局

1947. 6.22	新刊的中央軍國軍管料集	1 — 15
" 5.15	新刊的中央軍國軍管料集	16 — 20
" 6.17	新刊的中央軍國軍管料集	21 — 31
" 6.18	新刊的中央軍國軍管料集	32 — 46
" 6.27	新刊的中央軍國軍管料集	47 — 55
" 6.25	新刊的中央軍國軍管料集	56 — 72
" 6.30	新刊的中央軍國軍管料集	73 — 82
" 7.4	新刊的中央軍國軍管料集	83 — 99
" 8.9	新刊的中央軍國軍管料集	100 — 103
" 8.1	新刊的中央軍國軍管料集	104 — 115

密

局長

一九四九年七月三日

中國人民解放戰爭資料集

北朝鮮人民委員會外事局

東亞部 崔

北朝鮮人民委員會外事局



徐州綏署 薛岳

第一綏靖軍區馮恩伯已調任豫軍司令部

十九集團軍張雪平

三軍 (劉雨卿) (豫北)  
五軍 (王統文) (豫中)  
九軍 (王統文) (豫南)  
二軍 (王欽漢) (豫北)  
四軍 (王欽漢) (豫北)  
十軍 (李天爵) (豫北)

第三綏靖區 王輝武

二十集團軍 夏楚中

第三綏靖區 (馬治宇)

第八綏靖區 (夏成)

三十三集團軍 (李熙菴)

八軍 (李熙菴) (豫中)  
九軍 (李熙菴) (豫中)  
七軍 (李熙菴) (豫中)  
六軍 (李熙菴) (豫中)  
五軍 (李熙菴) (豫中)  
四軍 (李熙菴) (豫中)  
三軍 (李熙菴) (豫中)  
二軍 (李熙菴) (豫中)  
一軍 (李熙菴) (豫中)

鄭州綏署 劉峙

北朝鮮人民委員會外務局

第一綏區 胡宗南

三十三集團軍 (王仲廉)

三軍 王仲廉 (晉南)  
三三 王仲廉 (豫北)  
八五 吳統周 (豫北)

三十七集團軍 (劉戡)

三十八集團軍 (李重鈞)

第四綏靖區 (劉汝明)

九軍 鍾彬 (豫北)  
七軍 鍾彬 (豫北)  
六軍 鍾彬 (豫北)  
五軍 鍾彬 (豫北)  
四軍 鍾彬 (豫北)  
三軍 鍾彬 (豫北)  
二軍 鍾彬 (豫北)  
一軍 鍾彬 (豫北)

第五綏靖區 (孫震)

十一 趙錫山 (蘇豫邊)  
四 曹魁元 (豫北)  
三 陳鼎烈 (豫北)

膠濟綏署 余漢謀

川康綏署 邓錫侯

黔湘綏署 潘文華

三三 黃雁 (豫南)  
四四 王汝濬 (豫南)  
五五 李振 (豫北)  
六六 李振 (豫北)  
七七 李振 (豫北)  
八八 李振 (豫北)  
九九 李振 (豫北)  
一〇 潘文華 (豫北)

REPRODUCED AT THE NATIONAL ARCHIVES

第一战区(金錫山)

六集团军 王靖国

六军 王靖国 同前南段

七集团军 趙承燾

三三〇 趙承燾 同前南段

八集团军 孫楚

三四三 孫楚 同前北段

第八战区 陶峙岳

三集团军 (趙壽山)

一七〇 高桂白 武同南段

十七集团军 (馬鳴遠)

九一〇 王 晉 同前南段

二十九集团军 (李鉄軍)

八二〇 馬鳴遠 同前南段

承德警備總部 (錢大鈞)

八〇〇 馬呈祥 同前南段

重慶警備總部 (孫元良)

三〇〇 孫元良 同前南段

台湾警備總部 (陳儀)

二〇〇 陳儀 同前南段

成都行轅 (張 鄒)

本軍分心撤派

北朝鮮人民委員會外務局

西北行轅 (張 鄒)

七九軍 (方 瑞) 同前南段

附記

國民政府中央軍之陸軍之... 進行之結果一九四五年七月... 初等軍事學... 表內之兵行進... 一九四五年八月以後之變動...



主任 熊式輝

中國東北將介石中長軍正規部隊指揮系統表 一百五十九日訓表

司令官官 杜聿明 副官官 鄭洞國 梁華盛

29A 總司令 孫蔭 60A 副總司令 鄭洞國 輝

副官 陳南又

副官 白澤等

93A 盧濤泉 警 22D 祿澤匯

警 20D 薛韻濤

警 18D 許義濤

17A 石 覺 4D 駱振韻

24D 史松泉

54D 方宅仁

北朝鮮人民委員會外務局

20D 新世章

19D 陳林達

16D 許理

13D 曹

11D 趙

9D 趙

14D 祿天武

20D 李 濤

20D 羅 又 倫

30D 唐 宇 玘

30D 李 鴻

50D 潘 裕 崑

葉 敬

趙 振 宇

特務員

北朝鮮人民委員會

新 5A

新 6A

11A 53A

52A



REPRODUCTION OF THE WILSON CENTER ARCHIVE

東北敵軍戰序列表

北平人民日報 1948年11月20日 編

東北行營

東北保安司令部長官部

第一級清區

第一集團軍總司令部

七二軍 八七師 (口軍之口口本級清區之指導之口口口口口口)

九三軍 警備十八師

警備二十師

獨立第一師 (新兵訓練隊)

交通警備隊第一三總隊 (來往不明)

交通警備隊第二四總隊 (口口)

北平師 (原保安司令部)

東北保安司令部 保安司令部

北朝鮮人民委員會外務局

東北保安司令部第五總隊

第二級清區

十三軍 第五師

五三軍 一三〇師

東北保安司令部第三總隊

東北保安司令部第四總隊

東北保安司令部第五總隊

熱河第一支隊

吳安警備隊獨立騎兵團

吳安警備隊獨立騎兵團

吳安警備隊獨立騎兵團

熱河邊防指揮部

熱河邊防指揮部

熱河邊防指揮部

第三級清區

五三軍 二五師

六三軍 八四師

東北保安司令部總隊

東北保安司令部總隊

東北保安司令部  
 東北保安司令部  
 東北警備司令部

冀東縱隊

四五師  
 四三師

東北保安司令部  
 第一路四縱隊

北滿路警備司令部  
 山海關警備司令部

北滿路警備司令部  
 北滿路警備司令部

總指揮部

新第一軍  
 新三十一師  
 新三十六師

東北縱集  
 新三十一師  
 新三十六師

特務團  
 獨立二師(師部)

獨立二師(師部)  
 獨立二師(師部)

獨立二師(師部)  
 獨立二師(師部)

獨立二師(師部)  
 獨立二師(師部)

獨立二師(師部)  
 獨立二師(師部)

獨立二師(師部)  
 獨立二師(師部)

獨立二師(師部)  
 獨立二師(師部)

北朝鮮人民委員會外務局

直轄部隊

人軍兵總隊  
 (師部)

第一大隊(李在平)  
 第二大隊(李在平)

第三大隊(李在平)  
 第四大隊(李在平)

第五大隊(李在平)  
 第六大隊(李在平)

第七大隊(李在平)  
 第八大隊(李在平)

第九大隊(李在平)  
 第十大隊(李在平)

第十一大隊(李在平)  
 第十二大隊(李在平)







總司令

中央軍陸軍總司令部編制表

一九五〇年九月廿五日

副總司令

參謀長

副參謀長

辦公室主任

第一署

第二署

第三署

第四署

第五署

第六署

第七署

第八署

第九署

第十署

第十一署

第十二署

第十三署

第十四署

第十五署

第十六署

第十七署

第十八署

第十九署

第二十署

北朝鮮人民委員會外務局

會外

在設軍事訓練長





番	號	主官	架有數	消耗數	現存數
第一軍	軍部	孫平人			
	新八師	李鴻			
	新十師	潘德昆	28,000	5,000	23,000
	新三師	廖輝相			
第二軍	軍部	李鴻			
	新十師	李鴻	32,000	1,000	25,000
	新十師	李鴻			
	新十師	李鴻			
第三軍	軍部	李鴻			
	八七師	李鴻			
	八八師	李鴻			
	八九師	李鴻	30,000	6,500	23,500
第四軍	軍部	李鴻			
	二二師	李鴻			
	二五師	李鴻			
	一九五師	李鴻			
第五軍	軍部	李鴻			
	八二師	李鴻			
	八四師	李鴻	30,000	8,000	22,000
	二一師	李鴻			
第六軍	軍部	李鴻			
	二一師	李鴻			
	二二師	李鴻			
	二八師	李鴻	28,000	5,000	23,000
第七軍	軍部	李鴻			
	四四師	李鴻			
	五四師	李鴻			
	八四師	李鴻			
第八軍	軍部	李鴻			
	一一師	李鴻			
	一三〇師	李鴻			
	六七師	李鴻			

北朝鮮人民委員會外務局



付物

(印)

一九四七年五月二十五日

3026

48

6.20

贈錄江對岸，中國人民軍  
非法行為調查

北朝鮮人民委員會

東亞部 崔英

北朝鮮人民委員會外務局



PHOTOGRAPHED AT THE NATIONAL ARCHIVES

光武二十三年庚申の不法射撃

一九〇七年七月十三日頃、清軍が旅順の對岸に駐屯し、光武二十三年庚申の不法射撃に、中朝軍の對する射撃に、不法越境に、朝鮮人捕虜七人の射撃に

一九〇七年七月十三日頃、清軍が旅順の對岸に駐屯し、光武二十三年庚申の不法射撃に、中朝軍の對する射撃に、不法越境に、朝鮮人捕虜七人の射撃に

朝鮮側を向けての射撃に、不法越境に、朝鮮人捕虜七人の射撃に

一九〇七年七月十三日頃、清軍が旅順の對岸に駐屯し、光武二十三年庚申の不法射撃に、中朝軍の對する射撃に、不法越境に、朝鮮人捕虜七人の射撃に

一九〇七年七月十三日頃、清軍が旅順の對岸に駐屯し、光武二十三年庚申の不法射撃に、中朝軍の對する射撃に、不法越境に、朝鮮人捕虜七人の射撃に

一九〇七年七月十三日頃、清軍が旅順の對岸に駐屯し、光武二十三年庚申の不法射撃に、中朝軍の對する射撃に、不法越境に、朝鮮人捕虜七人の射撃に

北朝鮮人民委員會外務局

一九〇七年七月十三日頃、清軍が旅順の對岸に駐屯し、光武二十三年庚申の不法射撃に、中朝軍の對する射撃に、不法越境に、朝鮮人捕虜七人の射撃に

一九〇七年七月十三日頃、清軍が旅順の對岸に駐屯し、光武二十三年庚申の不法射撃に、中朝軍の對する射撃に、不法越境に、朝鮮人捕虜七人の射撃に

一九〇七年七月十三日頃、清軍が旅順の對岸に駐屯し、光武二十三年庚申の不法射撃に、中朝軍の對する射撃に、不法越境に、朝鮮人捕虜七人の射撃に

一九〇七年七月十三日頃、清軍が旅順の對岸に駐屯し、光武二十三年庚申の不法射撃に、中朝軍の對する射撃に、不法越境に、朝鮮人捕虜七人の射撃に

一九〇七年七月十三日頃、清軍が旅順の對岸に駐屯し、光武二十三年庚申の不法射撃に、中朝軍の對する射撃に、不法越境に、朝鮮人捕虜七人の射撃に

一九〇七年七月十三日頃、清軍が旅順の對岸に駐屯し、光武二十三年庚申の不法射撃に、中朝軍の對する射撃に、不法越境に、朝鮮人捕虜七人の射撃に

一九〇七年七月十三日頃、清軍が旅順の對岸に駐屯し、光武二十三年庚申の不法射撃に、中朝軍の對する射撃に、不法越境に、朝鮮人捕虜七人の射撃に

REPRODUCED AT THE NATIONAL ARCHIVES

中東軍の西朝鮮共産軍の侵入を警戒せしめ、

三八日、北朝鮮共産軍が南朝鮮共産軍と協力して、

三八日、南朝鮮共産軍が

三八日、北朝鮮共産軍が南朝鮮共産軍と協力して、

三八日、南朝鮮共産軍が

三八日、北朝鮮共産軍が南朝鮮共産軍と協力して、

三八日、南朝鮮共産軍が

三八日、北朝鮮共産軍が南朝鮮共産軍と協力して、

三八日、南朝鮮共産軍が

三八日、北朝鮮共産軍が

三八日、南朝鮮共産軍が北朝鮮共産軍と協力して、

三八日、北朝鮮共産軍が南朝鮮共産軍と協力して、

北朝鮮人民委員會外務局

北朝鮮人民委員會外務局

三八日、北朝鮮共産軍が南朝鮮共産軍と協力して、

三八日、南朝鮮共産軍が北朝鮮共産軍と協力して、

三八日、北朝鮮共産軍が南朝鮮共産軍と協力して、

三八日、南朝鮮共産軍が北朝鮮共産軍と協力して、

三八日、北朝鮮共産軍が

三八日、南朝鮮共産軍が北朝鮮共産軍と協力して、

三八日、北朝鮮共産軍が

三八日、南朝鮮共産軍が北朝鮮共産軍と協力して、

三八日、北朝鮮共産軍が

三八日、南朝鮮共産軍が北朝鮮共産軍と協力して、

三八日、北朝鮮共産軍が

REPRODUCED AT THE NATIONAL ARCHIVES

各郡別不法行為統計表 1947.5.7日

郡名	不法越境	不法渡航	不法渡航回数	取押債案	備考
江島郡	六	二	一	一	我隊管理、地民、先早給 生色各件の 物品奪去
磐山郡	一	(取押生色不法渡航等)			
沼原郡	一	四			取押生色、先早給、取
朝日郡				一	
義州郡		一	二		我隊、先早給、隊員5名、生色、先 人民、物品奪去
龍川郡	一	一	五		我隊、先早給、生色 物品奪去、二回
計	九	二	七	二	

20

北朝鮮人民委員會外務局



21

秘

北朝鮮人民委員會

中華人民共和國政府改組外黨派別

北朝鮮人民委員會外務局

東亞部

北朝鮮人民委員會外務局





原有の復興・CC法西斯(ルンペン)分子外の官僚階級の改進黨系、保  
皇黨研究系出身の民社党、國家主義の青年黨の新人會の中心

一 改進黨系

蔣介石の張群を以て行政院院長として出任した。歴史上  
の北支離亂を以てして企圖して、今次に已往に不同た其は改進黨  
系に、蔣介石独裁統治下の行政権を執掌せしむるを以てして、宋  
元、代身の内、財政権を掌握せしむるを以てして、改進黨の宋元又は  
職を以てして、改進黨系張嘉璈(公権)を以てして、宋元の内、祖詒を  
代身として、中央銀行總裁を任じた。田大業の直接經理人として  
現れた。改進黨系を以てして、北支離亂時代の糧粟、金城、中南、  
大陸の北方銀行の領導人の吸収した。南京政府の成立以後、  
南方銀行の附庸として吸収して、交通銀行の吸収して、改進黨

北朝鮮人民委員會外務局

系にCC兩陣の比を以てして、優勢を保持した。行長は錢新之  
と、改進黨系を接近して、人物の吸収して、地方銀行の吸収して、改進黨  
系に、強有力な集団の吸収して、

今次、國府委員中の陳耀德(光南)も亦是れ孔兼の改進黨系の  
田大業族經理人の吸収して、

蔣介石は張公権を中央銀行總裁とした。陳光南は國府委員  
として其は、偶然に其の吸収して、二重に其の吸収して、宋元買辦を代身  
として、宋元買辦宋元人の討伐して、其は信用を以てして其の吸収して、  
其は、陳の吸収して、張陳を、東來早の親美分子の吸収して、蔣介石は  
其の吸収して、張陳を、選手の吸収して、

孔長 王世長、財長、孔鴻鈞を以てして、改進黨の分子として、其  
の外、翁文灝、王寵惠、莫德惠、總務長、谷正倫、雷震等





RECORDED IN THE NATIONAL ARCHIVES

吳鼎昌 張公權 吳敏機 熊希齡 沈鴻烈 陳儀等の

### 二 民社党

民社党の成立は、國家社会党の革命精神の及ぶ重要政治家の合組に  
 依りて、その前身は、北清時代の保皇党の、保皇党  
 元清末戊戌政変時の康有為、梁啟超、楊度、汪兆銘、  
 孫中山の革命同盟会也。此の解散の地は、廣州也。辛亥革命  
 後、康有為は、是の保皇党を主張せしが、田舎運動の元復辟の  
 具也。康有為の党羽は、海外の革命党を及ぶ也。  
 蒋介石の南京の及、動政府を遂げ、その後、その元海軍の民  
 主党政党を組織せしが、其の元、現任海軍政府の國務委員也。  
 伍廷芳は、行政院國務委員、李大明は、鎮江の党の元也。康有  
 為外、梁啟超は、保皇党の元也。楊度は、復辟党の元也。民社党  
 の組織は、此の研究を成すに、袁世凱を補助し、  
 孫中山を及ぶ。革命を鎮むる也。國會を解散せしが、  
 之は、袁世凱の专制を、実行せしむる梁啟超は、其の元也。楊度は、  
 擁護の元也。袁世凱を討つるの目的は、段祺瑞を擁護する孫中山は、  
 及ぶ。第一次世界大戦の、各派は、其の元也。以後の  
 北清軍閥の混戦の、不断の、各派は、其の元也。研究の及  
 ぶ、動軍閥の、楊度は、擁護する也。民社党の、その元、領袖は、張君勱  
 原名は、張嘉森也。其の、張君勱の、元也。其の元、國會の、其の元、  
 其の元、研究の、梁啟超は、進路の、其の元、現在、梁啟超の、傳統は、  
 継続の、保皇、保農、保殷、之後の、保舊、其の元、其の元、張君  
 勱の、國會の、湯信心（又湯壽潜）は、研究の、湯信心の、其の元、表  
 世凱時代の、湖南督軍也。北清時代の、湯信心は、北平の、漢奸

### 北朝鮮人民委員會外務局

北朝鮮人民委員會外務局の組織は、其の元、研究の、成すに、袁世凱を補助し、  
 孫中山を及ぶ。革命を鎮むる也。國會を解散せしが、  
 之は、袁世凱の专制を、実行せしむる梁啟超は、其の元也。楊度は、  
 擁護の元也。袁世凱を討つるの目的は、段祺瑞を擁護する孫中山は、  
 及ぶ。第一次世界大戦の、各派は、其の元也。以後の  
 北清軍閥の、楊度は、擁護する也。民社党の、その元、領袖は、張君勱  
 原名は、張嘉森也。其の、張君勱の、元也。其の元、國會の、其の元、  
 其の元、研究の、梁啟超は、進路の、其の元、現在、梁啟超の、傳統は、  
 継続の、保皇、保農、保殷、之後の、保舊、其の元、其の元、張君  
 勱の、國會の、湯信心（又湯壽潜）は、研究の、湯信心の、其の元、表  
 世凱時代の、湖南督軍也。北清時代の、湯信心は、北平の、漢奸











五月廿七年六月十八日

中國與外國間之締結

條約文

北朝鮮人民委員會

外務省東亞部

北朝鮮人民委員會外務局

中國外外國商의 締結한 條約集

一八四七條 清政府의 英國商의 南京의 丁三條 條約은

締結한 條約이다. 이 條約은 天 南京條約의 條約이다. 丁三條 條約은 一

一 清政府는 賠償金 二百萬兩을 英政府의 納付한 條約이다.

二 香港은 永遠의 英國商의 割讓한 條約이다.

三 廣州, 廈門, 福州, 寧波, 上海, 通商口를 開放하고, 英國人

民의 家族을 다리고, 居住하고, 領事館을 設置한 條約은

許한 條約이다.

四 英國商의 入國한 規定의 條約은 依하고, 納稅(稅則)의 法의 條約은 是

規定한 條約이다. 中國商人은 早의 各地의 運搬한 條約은

稅則을 通過한 條約은 二重課稅을 施한 條約이다.

一八四四年의 美佛兩國의 英國의 中國의 南京條約締結을 檢査

北朝鮮人民委員會外務局

은 北朝鮮의 利益均等을 要求한 條約은 清政府는 在 美國의 佛蘭西

의 對北朝鮮의 中美條約, 中佛條約을 締結한 條約이다. 이 二

條約은 締結한 條約은 美國의 佛蘭西는 中國의 領事裁

判權을 確立한 條約이다.

一九五八年三月 英佛聯合軍之 北方大港之 侵入之 砲台之 攻陷  
 之 故之 清政府之 請和之 天津條約之 締結之  
 天津條約之 署名後、 以下之 北京之 條約之 交換之  
 之 期比准之 規程之 以下之 一八五九年 英佛公使之  
 北京之 請和之 清政府之 公使之 入港之 軍艦之  
 之 拒絕之 英佛聯合軍之 天津、北京之  
 陷落之 清政府之 英佛之 請和之 要求之 北京條約之  
 締結之 以下 (一八六〇年)

北朝鮮人民委員會外務局

當時之 露西亞之 中國之 英佛間之 戰爭之 甚為 臨時之  
 之 調整之 以下之 一切之 故之 以下之 清政府之  
 強軍之 中露天津條約 中露北京條約之 締結之 以下  
 之 清政府之 英佛聯合軍戰爭之 北方之 故之 餘暇之  
 以下 黑龍江以北之 中國領土之 占領之後 清政府之 強迫之  
 之 條約之 故之 以下之 利益之 故之 承認之  
 天津條約之 主要之 內容之 一、  
 一、 南京條約之 締結之 有期之  
 二、 中露、露英、台灣、潮州、瓊州之 商埠之 故之  
 三、 英國人民之 訴訟事件之 人命、財產之 論之、 以下  
 領事館之 處理之  
 四、 英國人民之 中國內各地之 游歷之 故之、 長江流域之  
 各港之 英國商船之 自由之 通商之 故之、  
 五、 英國之 耶穌教徒、 天主教徒之 自由之 傳教之 故之  
 六、 四百萬兩之 賠償之 故之、  
 七、 關稅協定之 承認之 (百分之五) 中國政府之 各國之 承認

是日訂止 國稅之增加若干也。當時佛蘭西以締結此條約之  
 大略 中英天津條約以外之條約中之 佛蘭西以 北平惠國  
 以之承認也 佛蘭西軍費之 二百萬是賠償也。

北京條約の内容を：

- 一、天津條約は 継続的を 有知也。
- 二、天津は 南華を 開放也。
- 三、九龍の半島は 英國の 領土を 割讓也。
- 四、英佛軍費の 損失費を 八百萬の 賠償也。
- 中國天津條約の 主要は 露國の 中國の 自由通商  
 領事館の 設置を 許す也。
- 中露北京條約の 北平中心の内容を 烏蘇里江以東の  
 土地を 露國の 割讓也。

北朝鮮人民委員會外務局

愛護條約の(一八八四年日露條約)の 主要内容の一  
 一、黑龍江以北を 露國領土とす也。  
 二、黑龍江、烏蘇里江、松花江の 中露兩國船舶の航行は 兩  
 國人民の 貿易を 許す也。

中國の日本の敗北後、一九四五四年、李鴻章は日本に  
 敗北の下の條約を締結し、その主要な内容は、以下  
 の如き

- 一、中國は朝鮮を独立國家とし、承認し、朝鮮を~~日本~~除き
- 二、遼東半島(鴨綠江の北)、鳳凰城、海城、營口及び(台湾)金島  
 及び琉球群島を日本の割譲地とし
- 三、中國は日本の軍費三億兩を賠償とし
- 四、沈陽、重慶、蘇州、杭州を通商港とし、日本は、~~朝鮮~~  
 の領事を設置することを許す
- 五、本條約の履行を保障し、為此に日本は、~~多分~~海軍隊  
 を~~この~~威海衛を占領し、又

北朝鮮人民委員會外務局



一九〇二日 清政府新強訂の 諸和條約の 十三條也 辛丑條約  
の 締結は其の 二主要内容は 此の如き也

一、賠償五千萬兩の 賠償を 一九〇二年早自一九〇四年に  
毎年平均二千五百兩に 支払はれ 本願は利子を合はれ  
總額十億兩の也

二、中國政府は 各國使館の 境界を 區劃し 使館境  
域内之 人全部公使に 管理し 中國人は 居住せしめ  
各國之 公使館を 保護し 爲るの 使館境域内之 護衛  
兵を 設置せしめ

三、中國政府は 大流砲台を 北京の 海濱間に 設け  
交通上 支障の 爲る 砲台を 設けしめ

四、各國之 北京、天津の 諸城壕間の 軍隊を 駐せしめ  
北朝鮮人民委員會 外務局

五、永久に 非外國籍の 加入は 禁止し 違反者に 死刑の  
處せしめ

六、各省督撫又武官は 有司各官之 萬若外國人は 傷害す  
は 以て 刑の 大 懲罰を 彈正す 此の如き 永久に  
撤職し 復職せしめず

一九二五年 日本之 中國政府之 中國之 滅亡之 約  
 他條之 提出之 約之 主要之 內容之 五部  
 分  
 第一號 第一號 中國政府之 日後 日本政府之 獨逸政府  
 之 協定之 承諾之 獨逸之 山東省之 國之 條約  
 或之 其他關係之 依之 中國政府之 對之 所有之  
 一切權利 利益之 讓與等項 自處之 其承諾之  
 第三號 中國政府之 且之 山東省之 外之 沿海一帶之  
 土地之 右島嶼之 等之 項目之 均論之 他國之 讓  
 與或之 租借之 約之 許之 約之

第三號 第三號 日本人民之 南滿洲 以 東部之 蒙在之 約之  
 之 工商業之 改造之 之 必妥之 建和或之 耕作之 也

北朝鮮人民委員會外務局

之 重要之 土地之 租借權或之 所有權之 認可之 也  
 第六號 中國政府之 中國南滿洲 以 東部之 蒙在之 約之  
 之 政治 財政 軍事之 顧問之 聘用之 也 此之 也  
 之 日本政府之 商議之 也 許之 也 第七號 中國政府  
 之 若長鐵道之 管理委員會 日本政府之 委辦之 也 二年  
 限之 本條約之 捺印之 日 一九一九年之 也

第三號 第一號 兩國締結之 互相協定之 也 且 適者之 職之 也  
 之 漢治洋公司之 兩國合作之 也 且 同時之 日本  
 政府之 同意之 該公司之 所有之 權利之 一切權利 產業  
 之 獨斷權之 也 該公司之 也 此之 該公司之 也 且 獨斷權  
 之 也 該公司之 也  
 第四號 中國政府之 中國之 所有之 沿岸 港灣 島嶼之 也 且 也

〇 是也國の讓渡以租借の形を以て承認せり  
 第五款第一款 中國中央政府の比より有力な日本人より  
 軍事政治的財政的顧問として聘用せり 第三款 従来中  
 日の兩國の警察事件の屢次吃ひの如 廢棄の讓渡の  
 不成就を以て 略して 地中の警察業務を 中日合作の事務  
 取柄とする 或は 此の如く 警察官署の日本人是  
 多數を聘用する 中國警察機關の改造の貢獻せり  
 第四款 日本は一定數量の中國の軍事に軍用品の  
 半數以上は軍用品を採取せり 或は 中國の中日合  
 作の軍需市場を設置する 日本教師を聘用する 日本  
 材料を供給す

北朝鮮人民委員會外務局

100

一九三五五月二十九日 天津駐屯日本軍は 参謀長福井等は  
 派遣の 中国当局の 東北義勇軍部隊を 援助することを  
 北平軍司令部理事長 何應欽の 許可の 承認を 要求する  
 が 否 否 国外大軍は 鋼集入関の 萬若 要求を 撥送の  
 許可を 自由行動を 採擇の 報復の 許可を 言明する。  
 天津駐屯 日本軍司令 梅澤は 此の 強硬態度を 以て 二  
 結果の 六月九日 何應欽に 梅澤前哨 秘密協定の 締結の  
 の 及 何梅協定の 許可  
 の 協定を 許可の 秘密を 国民党政府に 敵に 正式公布を  
 許可する 二 路を 一角の 否 認め 二 各方面の  
 材料の 依り 二 後 事實の 証明の 依り 中国方面の 許可  
 在 履行の 許可 各項の 許可

北朝鮮人民委員會外務局

- 一、 前北省及北平、天津両市の 国民党上層を 取消する。
- 二、 前北省の 駐屯軍を 東北軍に 中央軍の 撤退する。
- 三、 前北省を 主席 于學忠、 北平、天津両市場を 撤去する。
- 四、 北平軍司令部 政治部を 撤去する。
- 五、 前北省の 反日運動を 取消する。

完

一九四六年十月四日の米將商約を締結せられたる條約の主要内容は  
 一、米國人民の中國領土内に入る中國人民の同等の特遇を享有せしむ  
 持て、米國人民の身体財産の安全の好むの中國を以て、  
 漢口及び吳淞の保護地を除く。米國人民の住宅、倉庫、工場  
 商店及び其他業務場所（一切の商業地を含む）を、中國人民  
 參觀せしむるべし。

二、米國人民の中國の探礦の權を、最惠國の權利を享受するもの  
 中國の所有の礦山の比、米國の探礦を以て  
 三、中國の關稅外の内地稅を以て、米國人民の最惠の特遇を享受す  
 四、中國の領海、内河の米國艦隊、米國艦艇を一切の船舶を  
 貨物載運の乗客（武器載運の軍人は別）を、  
 自由航行の自由港及び沿岸の港に、  
 五、中國の内地地方の上空を以て、米國飛行機（民用、軍用）を含む  
 と自由な飛行を許すべし。上海、廣東、天津等飛行場は  
 着陸を許すべし。

北朝鮮人民委員會外務局

六、其他、米國人民の國の自由な兵隊の參加の權利を  
 以て、米國人民の飛行者、米國方面の交付の單獨として  
 審判せしむ。米國と中國の駐軍の權利を以て。

將米航協定問題は、一九四六年八月三十日の米國他方との交渉  
 会及び將政府間の合同調印を以て、同九月三日の將政府と  
 地及び上海一帯の航空協定を締結せられたる。これは、  
 將米航協定を以て、  
 締結せられたる。



南朝鮮人民抗留支援金品集計表

住所	姓	姓名	戶數	人員	現金	米	紙	手巾	麻袋	其他
新海縣		新安區	一六四七	七五八	三九八	六	三	四	六	
		名海區	四八八	二五八	一、二四〇	三五	一	四	二	
		山市區	二二二	一五九	二、〇五〇	〇				
		海林區	二二〇	一五五	八、五三六	〇	一〇八			
小計			二、二二六	一、七〇九	一、三六八	〇	一〇八			
北穆稜縣		八通通區	二二〇	一六八	八、六八〇	〇	六			
		梨樹鎮區	四五二	三六三	〇	二				
		曹興村區	五七〇	一、〇七五	〇	三				
		平盛村區	五五七	一、〇五〇	〇	七				
		福祿村區	二四〇	一、六〇五	〇	六				
住所										
北穆稜縣		智米村區	一九五	二、四五〇	〇	一				
		更新村區	二二八	〇	〇	〇				
		成德村區	九五	二、三三〇	〇	四				
		三邊成子區	九〇	九、三三〇	〇	〇				
小計			二、五五七	三、四〇六	〇	一				
南穆稜縣		蘇石石區	四九八	七、五九九	〇	一				
		興源鎮區	四五二	二、三三〇	〇	一				
		泉眼河區	四九五	四、二七〇	〇	一				
		穆穆區	四〇一	七、五三〇	〇	一				
		下城子區	五五九	四、二二〇	〇	一				
		大城廠區	〇	〇	〇	〇				
北朝鮮人民委員會外務局										





REPRODUCED AT THE NATIONAL ARCHIVES

45

住所		団体名	参加人数	現金	米	布	手巾	被褥	其他
牡丹江市	人民新报社	人民新报社	10	2,600					
"	市政府	市政府	13						
"	市警察局	市警察局	28	2,470					
"	市警察局	市警察局	73	3,300	11				
"	宗教团体	宗教团体	4				9		
"	老人會員局	老人會員局	144	1,940					
"	酒初会	酒初会	3	57			3		
"	飯店	飯店	57	2,200					
"	公安中隊	公安中隊	50	1,300					
"	隊員	隊員	2						
"	霍乱	霍乱	2						
"	衛生局	衛生局	2	1,200					
"	青年會	青年會	23	3,500	10				
"	朝鮮人協會	朝鮮人協會	23	3,500					
"	朝鮮人協會	朝鮮人協會	4	500					
牡丹江市	西体名士	西体名士	12						
"	保安會	保安會	3						
"	街頭	街頭	3	6,800					
"	職工	職工	2	6,200					
"	朝鮮人	朝鮮人	200	2,038			22	29	
"	朝鮮人	朝鮮人	17	7,250					
"	朝鮮人	朝鮮人	31						
"	朝鮮人	朝鮮人	37						
"	朝鮮人	朝鮮人	35						
綏陽縣	綏芬河	綏芬河	44	8,800					
"	保安隊	保安隊	27	6,570					
小計			273	30,657	1,050				



49

30/6

(秘)

一九四七年九月三十日

米國對中政策

英米關係

北朝鮮人民委員會外務局

東亞部產英

北朝鮮人民委員會外務局



















































最近の西北の東部の、蒙古の、チベット、朝鮮、中国、同時に東部の、  
 秘密の組織、秘密の組織、秘密の組織、秘密の組織、秘密の組織、  
 黄子又、杜衛、余振林、陳秋、等、等、等、等、等、等、  
 最近の、最近の、最近の、最近の、最近の、最近の、  
 秘密の組織、秘密の組織、秘密の組織、秘密の組織、秘密の組織、  
 最近の、最近の、最近の、最近の、最近の、最近の、

最近の、最近の、最近の、最近の、最近の、最近の、  
 秘密の組織、秘密の組織、秘密の組織、秘密の組織、秘密の組織、  
 最近の、最近の、最近の、最近の、最近の、最近の、  
 秘密の組織、秘密の組織、秘密の組織、秘密の組織、秘密の組織、  
 最近の、最近の、最近の、最近の、最近の、最近の、

北朝鮮人民委員會外務局

最近の、最近の、最近の、最近の、最近の、最近の、  
 秘密の組織、秘密の組織、秘密の組織、秘密の組織、秘密の組織、  
 最近の、最近の、最近の、最近の、最近の、最近の、  
 秘密の組織、秘密の組織、秘密の組織、秘密の組織、秘密の組織、  
 最近の、最近の、最近の、最近の、最近の、最近の、

最近の、最近の、最近の、最近の、最近の、最近の、  
 秘密の組織、秘密の組織、秘密の組織、秘密の組織、秘密の組織、  
 最近の、最近の、最近の、最近の、最近の、最近の、  
 秘密の組織、秘密の組織、秘密の組織、秘密の組織、秘密の組織、  
 最近の、最近の、最近の、最近の、最近の、最近の、



73

秘

一九四七年八月三日

2012 3-15

朝鮮民主主義人民共和國

外交部

北朝鮮人民委員會外務局

宋重光 簽

北朝鮮人民委員會外務局

議定書

日韓兩國之親善和睦 乃政府之要務也 其所以維持之者 在於兩國人民之親善和睦也 兩國人民之親善和睦 乃兩國親善和睦之基礎也 兩國人民之親善和睦 乃兩國親善和睦之基礎也 兩國人民之親善和睦 乃兩國親善和睦之基礎也

第一條 韓日兩國政府 自今日起 願在平等互惠之基礎上 締結親善和睦之條約 兩國政府 願在平等互惠之基礎上 締結親善和睦之條約 兩國政府 願在平等互惠之基礎上 締結親善和睦之條約

第二條 大日本帝國政府 大韓民國政府 願在平等互惠之基礎上 締結親善和睦之條約 兩國政府 願在平等互惠之基礎上 締結親善和睦之條約 兩國政府 願在平等互惠之基礎上 締結親善和睦之條約

第三條 大日本帝國政府 大韓民國政府 願在平等互惠之基礎上 締結親善和睦之條約 兩國政府 願在平等互惠之基礎上 締結親善和睦之條約 兩國政府 願在平等互惠之基礎上 締結親善和睦之條約

第四條 大日本帝國政府 大韓民國政府 願在平等互惠之基礎上 締結親善和睦之條約 兩國政府 願在平等互惠之基礎上 締結親善和睦之條約 兩國政府 願在平等互惠之基礎上 締結親善和睦之條約

第五條 大日本帝國政府 大韓民國政府 願在平等互惠之基礎上 締結親善和睦之條約 兩國政府 願在平等互惠之基礎上 締結親善和睦之條約 兩國政府 願在平等互惠之基礎上 締結親善和睦之條約

第六條 大日本帝國政府 大韓民國政府 願在平等互惠之基礎上 締結親善和睦之條約 兩國政府 願在平等互惠之基礎上 締結親善和睦之條約 兩國政府 願在平等互惠之基礎上 締結親善和睦之條約

第七條 大日本帝國政府 大韓民國政府 願在平等互惠之基礎上 締結親善和睦之條約 兩國政府 願在平等互惠之基礎上 締結親善和睦之條約 兩國政府 願在平等互惠之基礎上 締結親善和睦之條約

北朝鮮人民委員會外務局

特命全權公使 林權助  
外務大臣臨時署理陸軍少將 李址鎔

第二次報告

朝鮮の民主主義運動の發展とその意義

一、大韓政府の成立とその意義

二、大韓政府の成立とその意義

三、大韓政府の成立とその意義

四、大韓政府の成立とその意義

五、大韓政府の成立とその意義

六、大韓政府の成立とその意義

光武(1897) 壬午(1912)

外部大臣 申致昊

朝鮮三十七年(1912) 壬午

特命全權大使 林權世

北朝鮮人民委員會外務局



北朝鮮人民委員會外務局

外務部大臣 朴春純

內務部大臣 李址鎔

軍部大臣 李根澤

農林部大臣 李根澤

建設部大臣 李根澤

衛生部大臣 李根澤

教育部大臣 李根澤

交通部大臣 李根澤

司法部大臣 李根澤

財政部大臣 李根澤

中央黨部大臣 李根澤

最高人民檢察院 李根澤

最高人民裁判所 李根澤

最高人民會議 李根澤

最高人民檢察院 李根澤

最高人民裁判所 李根澤

最高人民會議 李根澤

最高人民檢察院 李根澤

最高人民裁判所 李根澤

最高人民會議 李根澤

最高人民檢察院 李根澤

最高人民裁判所 李根澤

最高人民會議 李根澤

最高人民檢察院 李根澤

最高人民裁判所 李根澤

最高人民會議 李根澤



第三次協約

日本國政府及韓國政府並承前韓國之屬領之南滿州之韓國領土及幸福等項並承前之北滿州之南

前條之規定也

第一條 韓國政府之施設及行政之統制權等之受讓事。

第二條 韓國政府之法令之制定及重要行政之執行等之統制權之受讓事。

第三條 韓國司法官格之普通行政事務等之區別事。

第四條 韓國警察官格之任命及統制權之受讓事。

第五條 韓國政府之統制權之委任及統制權之受讓事。

第六條 韓國政府之統制權之委任及統制權之受讓事。

右條據之北及南之日本國政府之相承委任之受讓之日本國領土之記名附

印字云々

北朝鮮人民委員會外務局

光緒十五年(一九〇九年)八月五日

內閣總理大臣 李完用

朝鮮國王(高宗)李熙

統監 侯爵 伊藤博文



朝鮮民主主義人民共和國 (一九四八) 八月二十五日

統帥 金日成 第一副統帥 朴正毅

朝鮮民主主義人民共和國 (一九四八) 八月二十五日

內閣總理大臣 李光弼

大相連國 (一九四八) 八月二十五日 歷年 (一九四九) 八月二十五日

內閣總理大臣 李光弼

內務大臣 朴春純

農林大臣 趙重德

學務大臣 李春植

護交部大臣 高永喜

北朝鮮人民委員會外務局





83

秘

五十七年七月

局長先生

中蘇友好同盟條約文

北朝鮮人民委員會外務局

東亞部崔英

北朝鮮人民委員會外務局







双方照会

一、在翰：部长阁下 中苏友好同盟条约是调查日本意图的  
是部长阁下特向苏联政府提出的 苏联在 1945 年 8 月 8 日  
人上述条约的精神下 苏联政府及其他国家政府应予以  
协助之完全中国中央政府即国民政府所供给

二、在翰：部长阁下 中苏友好同盟条约是调查日本意图的  
是部长阁下特向苏联政府提出的 苏联在 1945 年 8 月 8 日  
人上述条约的精神下 苏联政府及其他国家政府应予以  
协助之完全中国中央政府即国民政府所供给

三、在翰：部长阁下 中苏友好同盟条约是调查日本意图的  
是部长阁下特向苏联政府提出的 苏联在 1945 年 8 月 8 日  
人上述条约的精神下 苏联政府及其他国家政府应予以  
协助之完全中国中央政府即国民政府所供给

四、在翰：部长阁下 中苏友好同盟条约是调查日本意图的  
是部长阁下特向苏联政府提出的 苏联在 1945 年 8 月 8 日  
人上述条约的精神下 苏联政府及其他国家政府应予以  
协助之完全中国中央政府即国民政府所供给

北朝鲜人民委员会外务局

五、在翰：部长阁下 中苏友好同盟条约是调查日本意图的  
是部长阁下特向苏联政府提出的 苏联在 1945 年 8 月 8 日  
人上述条约的精神下 苏联政府及其他国家政府应予以  
协助之完全中国中央政府即国民政府所供给

六、在翰：部长阁下 中苏友好同盟条约是调查日本意图的  
是部长阁下特向苏联政府提出的 苏联在 1945 年 8 月 8 日  
人上述条约的精神下 苏联政府及其他国家政府应予以  
协助之完全中国中央政府即国民政府所供给

七、在翰：部长阁下 中苏友好同盟条约是调查日本意图的  
是部长阁下特向苏联政府提出的 苏联在 1945 年 8 月 8 日  
人上述条约的精神下 苏联政府及其他国家政府应予以  
协助之完全中国中央政府即国民政府所供给

八、在翰：部长阁下 中苏友好同盟条约是调查日本意图的  
是部长阁下特向苏联政府提出的 苏联在 1945 年 8 月 8 日  
人上述条约的精神下 苏联政府及其他国家政府应予以  
协助之完全中国中央政府即国民政府所供给

九、在翰：部长阁下 中苏友好同盟条约是调查日本意图的  
是部长阁下特向苏联政府提出的 苏联在 1945 年 8 月 8 日  
人上述条约的精神下 苏联政府及其他国家政府应予以  
协助之完全中国中央政府即国民政府所供给

十、在翰：部长阁下 中苏友好同盟条约是调查日本意图的  
是部长阁下特向苏联政府提出的 苏联在 1945 年 8 月 8 日  
人上述条约的精神下 苏联政府及其他国家政府应予以  
协助之完全中国中央政府即国民政府所供给



REPRODUCED AT THE NATIONAL ARCHIVES

88

蘇聯政府之 中華民國政府之 對北平 上項照會及電報悉均接受北平  
 內廷政府表示不認 蘇聯政府之 蒙古人民共和國政府之 領土  
 以克蘇之 尊重也 本部長是貴部長之 對北平之 崇高也  
 敬之 表也

中華民國國民政府外交部王部長世杰

中華民國三十四年  
 西曆一九四五年八月十九日

北朝鮮人民委員會外務局







中華民國三十一年八月十四日

一九五〇年八月十四日 於平壤

中文、朝鮮文、各三篇 中文、朝鮮文、同等比例力可也

中華民國三十一年八月十四日 (記者)

此項社會主義愛國歌集為朝鮮民主主義人民共和國第一屆全國代表大會(記者)

北朝鮮人民委員會外務局

「開放大連港口捕鯊」

大連港は、開港後、我が中華民国に止るは、社会主義共和国聯邦に友好  
な關係にある。この關係は、社会主義共和国聯邦と中國の關係に  
對し、中國東三省の全權を主張し、保護し、尊重し、中國の「不可分割の  
部分」であることを、社会主義共和国聯邦と大連の對し、この貨物進出口  
利益獲得を保障し、保護し、この中華民国の此の同意に、

- 一、大連の「自由港」を、自由港の「在國貿易及搬運」の權利を開放し、
- 二、中國政府の別れの「港」に、この自由港の「港」の權利を、この貨物の  
三、搬入の行政の「中國の「港」の責任を、中國政府の責任に、蘇聯の責任に、  
四、大連の「大連市長の同意」を、この「港」の責任を、この「港」の責任に、  
五、この「港」の責任を、この「港」の責任に、

北朝鮮人民委員會外務局

一、この「港」の責任を、この「港」の責任に、  
二、この「港」の責任を、この「港」の責任に、  
三、この「港」の責任を、この「港」の責任に、  
四、この「港」の責任を、この「港」の責任に、  
五、この「港」の責任を、この「港」の責任に、  
六、この「港」の責任を、この「港」の責任に、  
七、この「港」の責任を、この「港」の責任に、  
八、この「港」の責任を、この「港」の責任に、  
九、この「港」の責任を、この「港」の責任に、  
十、この「港」の責任を、この「港」の責任に、

一、この「港」の責任を、この「港」の責任に、  
二、この「港」の責任を、この「港」の責任に、  
三、この「港」の責任を、この「港」の責任に、  
四、この「港」の責任を、この「港」の責任に、  
五、この「港」の責任を、この「港」の責任に、  
六、この「港」の責任を、この「港」の責任に、  
七、この「港」の責任を、この「港」の責任に、  
八、この「港」の責任を、この「港」の責任に、  
九、この「港」の責任を、この「港」の責任に、  
十、この「港」の責任を、この「港」の責任に、



中華民國之行政主權一主權代表(記者印)

上聯最高上之主權由全權代表(記者印)

大連協定之國際法意義

「中國政府之蘇聯之議訂大連協定之港上之軍事及設備之權是無礙之蘇聯之行政主權之期限七十五年其後其他各港之軍事及設備之中國之使團之港上之撤換或之重建之權者中國之蘇聯之同意之港上之使團之華民國之行政主權全權代表

上之港上之軍事及設備之最高主權由全權代表

大連協定之國際法意義  
蘇聯國之議定大連協定之港上之使團之華民國之行政主權全權代表

在條中之兩國之軍事之行政主權之港上之使團之華民國之行政主權全權代表

北朝鮮人民委員會外務局

北朝鮮人民委員會外務局

北朝鮮人民委員會外務局  
北朝鮮人民委員會外務局

北朝鮮人民委員會外務局  
北朝鮮人民委員會外務局

北朝鮮人民委員會外務局  
北朝鮮人民委員會外務局

北朝鮮人民委員會外務局  
北朝鮮人民委員會外務局

北朝鮮人民委員會外務局  
北朝鮮人民委員會外務局

北朝鮮人民委員會外務局  
北朝鮮人民委員會外務局

北朝鮮人民委員會外務局  
北朝鮮人民委員會外務局

北朝鮮人民委員會外務局  
北朝鮮人民委員會外務局

北朝鮮人民委員會外務局  
北朝鮮人民委員會外務局

該區域內之駐軍者指揮者高司令官等保護該區域之治安並為其防務  
 行政當局之北軍議之該行政當局之行政官及司令官等若其議決之  
 出之司令官等事件之北軍議之該行政當局之行政官及司令官等若其議決之  
 出之

本條之駐政府之司令官等之北軍議之該行政當局之行政官及司令官等若其議決之  
 出之

本條之駐政府之司令官等之北軍議之該行政當局之行政官及司令官等若其議決之  
 出之

本條之駐政府之司令官等之北軍議之該行政當局之行政官及司令官等若其議決之  
 出之

本條之駐政府之司令官等之北軍議之該行政當局之行政官及司令官等若其議決之  
 出之

北朝鮮人民委員會外務局

本條之駐政府之司令官等之北軍議之該行政當局之行政官及司令官等若其議決之  
 出之

西曆一九五〇年八月二十五日 北朝鮮人民委員會外務局





100

秘

一九四七年八月九日

局 呈

東北戰況

北朝鮮人民委員會外務局  
東 亞 部

北朝鮮人民委員會外務局

# 東北戰況

(五月十一日—七月一日까지 五十四回)

我軍夏期攻勢는 五月十日早에 東西南滿鐵 執務, 冀東各州戰場의 亂의에 開始되니 同時에 敵의 對北 作戰(進政的)의 展開은 相互配合의에 七月一日의에 是 五十日은 敵의 敵 敵 敵 八万余名, 四三州縣城(三州六但)은 敵의 占領하 (연)을 收復하되 敵의 占領地區 十萬平方키로 約 一萬(冀東을 除外)의 鐵道를 控制하되 二四五百키로 敵의 우리에 對하 東西南北 均에 冀東 執務 各根 拮据의 分割計劃의에 所謂 二樓 勸守衛의 佈置을 完全히 粉碎하되니 此의에 四平街의 重兵을 固守하되

## 北朝鮮人民委員會外務局

敵의에 嚴重히 打擊을 주되 敵軍은 亂의에 慘敗의에 中長路의 北省路의 林長의 走却地帶을 收縮하되니 所謂 重兵防線의에 亂의에 亂의에 昨午四平街戰役의 敵軍의 侵犯地區는 九州大城市을 除北外의는 以의 解放하되니 以의 早一은 東北 局勢를 改善하되 今後我軍의 戰의 有利條件을 創造하되니 此의에 戰果를 是 初步的統計는 此의에 敵軍官死七一覽表

番	號	職別	姓名	數字
七	一	軍	參謀長 馮家毅	一
七	二	軍	師長 韓增棟	一
七	三	軍	師長 李景	一
七	四	軍	師長 李景	一
七	五	軍	師長 李景	一
七	六	軍	師長 李景	一
七	七	軍	師長 李景	一
七	八	軍	師長 李景	一
七	九	軍	師長 李景	一
七	十	軍	師長 李景	一
七	十一	軍	師長 李景	一
七	十二	軍	師長 李景	一
七	十三	軍	師長 李景	一
七	十四	軍	師長 李景	一
七	十五	軍	師長 李景	一
七	十六	軍	師長 李景	一
七	十七	軍	師長 李景	一
七	十八	軍	師長 李景	一
七	十九	軍	師長 李景	一
七	二十	軍	師長 李景	一
七	二十一	軍	師長 李景	一
七	二十二	軍	師長 李景	一
七	二十三	軍	師長 李景	一
七	二十四	軍	師長 李景	一
七	二十五	軍	師長 李景	一
七	二十六	軍	師長 李景	一
七	二十七	軍	師長 李景	一
七	二十八	軍	師長 李景	一
七	二十九	軍	師長 李景	一
七	三十	軍	師長 李景	一
七	三十一	軍	師長 李景	一
七	三十二	軍	師長 李景	一
七	三十三	軍	師長 李景	一
七	三十四	軍	師長 李景	一
七	三十五	軍	師長 李景	一
七	三十六	軍	師長 李景	一
七	三十七	軍	師長 李景	一
七	三十八	軍	師長 李景	一
七	三十九	軍	師長 李景	一
七	四十	軍	師長 李景	一
七	四十一	軍	師長 李景	一
七	四十二	軍	師長 李景	一
七	四十三	軍	師長 李景	一
七	四十四	軍	師長 李景	一
七	四十五	軍	師長 李景	一
七	四十六	軍	師長 李景	一
七	四十七	軍	師長 李景	一
七	四十八	軍	師長 李景	一
七	四十九	軍	師長 李景	一
七	五十	軍	師長 李景	一
七	五十一	軍	師長 李景	一
七	五十二	軍	師長 李景	一
七	五十三	軍	師長 李景	一
七	五十四	軍	師長 李景	一
七	五十五	軍	師長 李景	一
七	五十六	軍	師長 李景	一
七	五十七	軍	師長 李景	一
七	五十八	軍	師長 李景	一
七	五十九	軍	師長 李景	一
七	六十	軍	師長 李景	一
七	六十一	軍	師長 李景	一
七	六十二	軍	師長 李景	一
七	六十三	軍	師長 李景	一
七	六十四	軍	師長 李景	一
七	六十五	軍	師長 李景	一
七	六十六	軍	師長 李景	一
七	六十七	軍	師長 李景	一
七	六十八	軍	師長 李景	一
七	六十九	軍	師長 李景	一
七	七十	軍	師長 李景	一
七	七十一	軍	師長 李景	一
七	七十二	軍	師長 李景	一
七	七十三	軍	師長 李景	一
七	七十四	軍	師長 李景	一
七	七十五	軍	師長 李景	一
七	七十六	軍	師長 李景	一
七	七十七	軍	師長 李景	一
七	七十八	軍	師長 李景	一
七	七十九	軍	師長 李景	一
七	八十	軍	師長 李景	一
七	八十一	軍	師長 李景	一
七	八十二	軍	師長 李景	一
七	八十三	軍	師長 李景	一
七	八十四	軍	師長 李景	一
七	八十五	軍	師長 李景	一
七	八十六	軍	師長 李景	一
七	八十七	軍	師長 李景	一
七	八十八	軍	師長 李景	一
七	八十九	軍	師長 李景	一
七	九十	軍	師長 李景	一
七	九十一	軍	師長 李景	一
七	九十二	軍	師長 李景	一
七	九十三	軍	師長 李景	一
七	九十四	軍	師長 李景	一
七	九十五	軍	師長 李景	一
七	九十六	軍	師長 李景	一
七	九十七	軍	師長 李景	一
七	九十八	軍	師長 李景	一
七	九十九	軍	師長 李景	一
七	一百	軍	師長 李景	一







104

秋

一九四七年八月一日

國社黨自由來

北朝鮮人民委員會  
外務局東亞部

北朝鮮人民委員會外務局

### 國社黨の由來

一九三〇年春李中回之農紅軍の以てハ 發展せしめ  
 上海の大部分大學教授(張君勱、張東蓀)の官修改定  
 (湯御銘、徐夢岩)之中國共產黨の力量の増長を以て  
 寧靜の同時の正 國民黨之統制上のハ 以て奔馳せしめ  
 此を以て國社主義 之を以て 中國の指命統制  
 外來科を以て申す事也 中國を 逐つて之を以て  
 彼の以て國社主義の國家主義を以て 羅隆基以て新  
 派の又其象 梁實秋の滄桑來、甚至於改定の章士釗の  
 吸收せしめ、之の最初の一定の 名稱ハ 一定の組織  
 形式の以て 陣中後の 羅隆基、梁實秋の北平のハ 自由評  
 論の以て 一以て刊物を 取扱はしめ、外人を以て 自由評論派  
 早之ハ 原來張東蓀之 一九三〇年上海のハ 時事新  
 報を 主持せしめ 國社主義の主張を 高揚せしめ、一  
 三年北平のハ 教鞭を以て以て之を 黨綱數條を以て  
 此の之時張君勱之 燕京大學の以て之を 兩人の商議  
 之の益世報主筆 羅隆基を以て之を 兩生社を以て  
 組織せし 兩生社雜誌を 發刊せし 之際 衆對衆之 兩派  
 の各生以て 一部分 政界の以て 北平の總部を 設置す  
 天津上海、武漢等のハ 分部を 設立す 以て之を 兩  
 生時期を 以て之を 天津、京滬のハ 活動せしめ、  
 一方固之を 當時士農革命の好ハ 恐怖を 表示  
 此の以て之を 民族本位主義を以て 共產主義の 反對

### 北朝鮮人民委員會外務局

論の以て 一以て刊物を 取扱はしめ、外人を以て 自由評論派  
 早之ハ 原來張東蓀之 一九三〇年上海のハ 時事新  
 報を 主持せしめ 國社主義の主張を 高揚せしめ、一  
 三年北平のハ 教鞭を以て以て之を 黨綱數條を以て  
 此の之時張君勱之 燕京大學の以て之を 兩人の商議  
 之の益世報主筆 羅隆基を以て之を 兩生社を以て  
 組織せし 兩生社雜誌を 發刊せし 之際 衆對衆之 兩派  
 の各生以て 一部分 政界の以て 北平の總部を 設置す  
 天津上海、武漢等のハ 分部を 設立す 以て之を 兩  
 生時期を 以て之を 天津、京滬のハ 活動せしめ、  
 一方固之を 當時士農革命の好ハ 恐怖を 表示  
 此の以て之を 民族本位主義を以て 共產主義の 反對

此等提出所以 在一方面之見 當時蔣介石之政策則  
 不為其所以之也 且其地位之分數亦非其所以新  
 民主政治之 國之現狀也 該黨幹部至甲乙之發表其  
 宣言也 中國之現狀也 共產黨之 頑固也 行部  
 化也 共產黨之 惡化也 青年黨之 頑固也 行部  
 化也 國民黨之 官僚化也 共產黨之 土匪化也 青年  
 黨之 學究化也 主義論也 三民主義之 混亂也  
 共產主義之 激進也 國家主義之 背式也 時代論也  
 國民黨之 前期革命也 共產黨之 混亂時代之 犧牲也  
 青年黨之 過渡時代之 附庸物也 此等也 此等也  
 九八以後 且其是當時環境之 適應也 一般人之 口味也  
 其所以為此也 其是是 流動內容也 增加也 抗日救國の

北朝鮮人民委員會外務局

旗幟也 政府外外交政策也 攻擊也 積極也  
 救國運動也 提議也 此等也 大部分也 本身也  
 要求也 反映也 同時也 地位也 地位也 地位也  
 此等也 政權の 參加也 一手段也 此等也 宏觀也  
 是也 進步的作用也 引起也 一部分也 青年也 生也  
 好評也 同時也 卒業後の 出路也 圖謀也  
 行為也 一部分也 青年也 辭職也 繼承也 統一也 派也  
 多爆發也 此等也 救工也 華北の 派也  
 是也 愛國青年也 逮捕也 此等也 張君勱也 党也 組織也  
 此等也 成也 易也 吳也 此等也 認識也 結局也 羅隆  
 基 溥實秋 張東蓀 徐溥霖 此等也 黨也 組織也  
 海生 此等也 大會也 存在也 正式也 國家也 社會也





之等の基礎に和平手段を以て経済的改良を期す此の果  
力手段を以て徹底し社会革命を實行するに支拂はる

三 国民党の組織

国民党の最新方針機關之令国民党大会の閉幕後中央總務  
委員令を以て早く党務を主持せし中央總務委員令を以て設置  
此の該党の監察機關を以て之を令国民党之中央總務支部令  
部を以て之を令分設せし中央總務委員令を以て規定の凡そ七  
人は之を早く一人一人を以て組織せし候補を三人乃至九人の  
委員令を以て總務委員首領を以て之を以て之を以て之を以て  
黨支部方針の中心を以て設置せし毎年の正副委員長一人を以  
て候補田を以て之を令一人を以て連絡せし其の内之党員  
類似はる

北朝鮮人民委員會外務局

過去該党の中央組織を總務委員令の張元勳、張東生、  
陸鼎撰、羅文幹、羅隆基、湯銘銘、盧慎昌、李  
以之總務秘書を以て張元勳、組織を以て之を以て之を以て  
以之張元勳、又張元勳、張元勳、張元勳、張元勳、張元勳、其  
他の湯銘銘、徐介勉、潘光旦、潘光旦、胡石青、王有稿、徐  
溥霖、蔣白田、江澤、章士釗等之。是の該党の重要分子  
を以て之。彼の張元勳、羅隆基、湯銘銘、梁秋林等之。先づ此の  
院難を以て湯銘銘、湯銘銘、陸鼎撰、梁秋林等之。先づ此の  
部の投降を以て羅文幹、胡石青等之。此の江澤、章士釗等  
に該党を以て湯銘銘、湯銘銘、湯銘銘、湯銘銘、湯銘銘、湯銘銘、  
上の、至るまで破壊の、此の、此の、此の、此の、此の、此の、  
現在之組織を以て之、及解之、及解之、及解之、及解之、及解之、及解之、



頃已將介石之極力之令作之疏疏通之也。地方勢力之元  
 陳雨、榮祿、韓後、吳佩孚等之往來也。抗戰初期  
 之是之多方面之。國民黨之檢討也。張君勱之該黨之  
 代表也。蔣介石之書信也。政府之擁護也。  
 誠意也。表也。只今民放之存之。容易也。大衆  
 之心也。國民政府之討也。一致之擁護也。抗戰之  
 討也。國民黨之討也。該黨之經費  
 之補充費十萬元也。國民黨之經費也。擁護也  
 也。比之三十萬元也。支拂也。二也。何則。該黨  
 購買也。一也。國民黨之經費也。國民黨之經費也。以後  
 該黨之君師、梁寒秋、羅隆基、陸鼎儀、徐溥林、浦希來、胡和  
 希、李人之討也。此也。章士釗、羅文

北朝鮮人民委員會外務局

幹、江浦、羅王幼福等之該黨之關係也。此時期之  
 是也。汪派及CC之。親密也。才一奉命也。二  
 是。德也。人望也。汪議長也。感謝也。是也。  
 抗戰之問題也。因社黨之抗戰也。汪派也。已  
 願一般之抗戰也。汪派也。二也。抗戰也。三也。  
 恒常悲觀也。論也。相也。新也。表也。抗戰也。  
 例也。一九四八年奉命也。汪派也。抗戰也。  
 敵也。抗戰也。要也。汪派也。二也。抗戰也。是也。  
 時局也。中日戰爭也。解決也。汪派也。二也。  
 一九三九年汪派也。中華大學也。汪派也。一也。回  
 國也。抗戰也。自然也。平和也。抗戰也。而也。汪派也。  
 是也。免也。抗戰也。是也。抗戰也。是也。抗戰也。



平和なり。休養の必要あり。存利の必要あり。戦争は主  
 張の必要あり。和平は主張の必要あり。世の戦争は  
 戦争の必要あり。同一の連戦の必要あり。世の戦争は  
 吳の必要あり。任精衛の必要あり。國家社会党の  
 人物の必要あり。上海の必要あり。國家社会党  
 政体の必要あり。名義の必要あり。代表の必要あり。任精衛の  
 必要あり。殺敵の必要あり。重慶の必要あり。石集の必要あり。大會の必要あり  
 某人の必要あり。湯の必要あり。及通の必要あり。党籍の必要あり。提議の必要あり  
 二の必要あり。張君の必要あり。在滬の必要あり。五聖の必要あり。の必要あり。の必要あり  
 其党籍の必要あり。取得の必要あり。

北朝鮮人民委員會外務局

党の必要あり。利用の必要あり。其の必要あり。及対の必要あり。張君の必要あり  
 有之必要あり。一九三八年青年。毛沢東先生の必要あり。公開書信の必要あり  
 入路の必要あり。使命の必要あり。指揮の必要あり。命令の必要あり。蔣介石の必要あり。交付の必要あり  
 特選の必要あり。敷信の必要あり。主権の必要あり。の必要あり。の必要あり。の必要あり。の必要あり  
 取得の必要あり。以後の必要あり。及共の必要あり。の必要あり。の必要あり。の必要あり。の必要あり  
 旅の必要あり。の必要あり。自身の必要あり。の必要あり。の必要あり。の必要あり。の必要あり  
 の必要あり。實力の必要あり。の必要あり。其の必要あり。の必要あり。の必要あり。の必要あり  
 数倍の必要あり。の必要あり。の必要あり。國民の必要あり。の必要あり。の必要あり。の必要あり  
 統一の必要あり。の必要あり。の必要あり。の必要あり。の必要あり。の必要あり。の必要あり。の必要あり  
 如更上の必要あり。の必要あり。の必要あり。の必要あり。の必要あり。の必要あり。の必要あり。の必要あり  
 の必要あり。の必要あり。の必要あり。の必要あり。の必要あり。の必要あり。の必要あり。の必要あり  
 の必要あり。の必要あり。の必要あり。の必要あり。の必要あり。の必要あり。の必要あり。の必要あり  
 の必要あり。の必要あり。の必要あり。の必要あり。の必要あり。の必要あり。の必要あり。の必要あり





SHIPPING ADVICE NO 2006

BOX 1  
ITEM 36

Box 11

Copy 1

115

右方面の人々は 輾転の共同の責任を對中する

第一 改進黨... 改進黨之德者此時國民黨이라 於此之時 特殊

地位を維持し 改進黨の時なり

第三 改進黨... 民國の民國の政を承認し 其は人民の

原則なり 此の順應を見るに 存在するの之 逆有之 搬送するなり

... 此の政の正軌を達するなり 張の心

... 民國の政の正軌を達するなり 張の心

... 民國の政の正軌を達するなり 張の心

... 民國の政の正軌を達するなり 張の心

... 民國の政の正軌を達するなり 張の心

北朝鮮人民委員會外務局

第一線の國事なり 現在 改進黨黨首 改進黨の

堅持なり 國民黨の改進黨決議を 転覆するなり 陰

謀の及ぶなり 国民党の人士を 召喚するなり 蔣の

改進黨の上の 国民党の改進黨決議を 蔣の

改進黨の上の 国民党の改進黨決議を 蔣の

改進黨の上の 国民党の改進黨決議を 蔣の

改進黨の上の 国民党の改進黨決議を 蔣の

改進黨の上の 国民党の改進黨決議を 蔣の

改進黨の上の 国民党の改進黨決議を 蔣の

改進黨の上の 国民党の改進黨決議を 蔣の

改進黨の上の 国民党の改進黨決議を 蔣の

改進黨の上の 国民党の改進黨決議を 蔣の

改進黨の上の 国民党の改進黨決議を 蔣の

改進黨の上の 国民党の改進黨決議を 蔣の

改進黨の上の 国民党の改進黨決議を 蔣の

改進黨の上の 国民党の改進黨決議を 蔣の

改進黨の上の 国民党の改進黨決議を 蔣の

改進黨の上の 国民党の改進黨決議を 蔣の







上の要員分  
人分論

北朝鮮人民委員会の組織は、最近の北朝鮮の政治情勢を反映して、最大東進の目的を以て、特異な特色を有するものと考えられる。故に、北朝鮮の組織の今後の展開は、北朝鮮の政治情勢の推移に大きく影響されるものと考えられる。例として、陳正夫の新疆を以て、毛澤東氏の前秘書長に昇格されたこと（北朝鮮の最高指導者）は、北朝鮮の政治情勢の推移を反映しているものと考えられる。北朝鮮の政治情勢の推移は、北朝鮮の政治情勢の推移を反映しているものと考えられる。例として、陳正夫の新疆を以て、毛澤東氏の前秘書長に昇格されたこと（北朝鮮の最高指導者）は、北朝鮮の政治情勢の推移を反映しているものと考えられる。

### 北朝鮮人民委員會外務局

北朝鮮人民委員会の外務局は、北朝鮮の外交政策を決定する重要な機関である。北朝鮮の外交政策は、北朝鮮の政治情勢を反映して、最大東進の目的を以て、特異な特色を有するものと考えられる。故に、北朝鮮の外務局の今後の展開は、北朝鮮の政治情勢の推移に大きく影響されるものと考えられる。例として、陳正夫の新疆を以て、毛澤東氏の前秘書長に昇格されたこと（北朝鮮の最高指導者）は、北朝鮮の政治情勢の推移を反映しているものと考えられる。

4













檢閱後之調查及意見  
 一、我黨自建國以來對於北平之政策中其特殊之點在於  
 時局之變遷而北平之地位亦隨之而變遷也  
 二、北平之特殊地位在於其為我國之文化中心及交通之樞紐  
 三、北平之特殊地位在於其為我國之政治中心及外交之樞紐  
 四、北平之特殊地位在於其為我國之經濟中心及工業之樞紐  
 五、北平之特殊地位在於其為我國之軍事中心及防禦之樞紐  
 六、北平之特殊地位在於其為我國之文化中心及教育之樞紐  
 七、北平之特殊地位在於其為我國之科學中心及研究之樞紐  
 八、北平之特殊地位在於其為我國之藝術中心及娛樂之樞紐  
 九、北平之特殊地位在於其為我國之宗教中心及信仰之樞紐  
 十、北平之特殊地位在於其為我國之歷史中心及紀念之樞紐  
 十一、北平之特殊地位在於其為我國之地理中心及交通之樞紐  
 十二、北平之特殊地位在於其為我國之人口中心及居住之樞紐  
 十三、北平之特殊地位在於其為我國之資源中心及開發之樞紐  
 十四、北平之特殊地位在於其為我國之環境中心及保護之樞紐  
 十五、北平之特殊地位在於其為我國之未來中心及發展之樞紐

北朝鮮人民委員會外務局

其特殊之點在於  
 一、北平之特殊地位在於其為我國之文化中心及交通之樞紐  
 二、北平之特殊地位在於其為我國之政治中心及外交之樞紐  
 三、北平之特殊地位在於其為我國之經濟中心及工業之樞紐  
 四、北平之特殊地位在於其為我國之軍事中心及防禦之樞紐  
 五、北平之特殊地位在於其為我國之文化中心及教育之樞紐  
 六、北平之特殊地位在於其為我國之科學中心及研究之樞紐  
 七、北平之特殊地位在於其為我國之藝術中心及娛樂之樞紐  
 八、北平之特殊地位在於其為我國之宗教中心及信仰之樞紐  
 九、北平之特殊地位在於其為我國之歷史中心及紀念之樞紐  
 十、北平之特殊地位在於其為我國之地理中心及交通之樞紐  
 十一、北平之特殊地位在於其為我國之人口中心及居住之樞紐  
 十二、北平之特殊地位在於其為我國之資源中心及開發之樞紐  
 十三、北平之特殊地位在於其為我國之環境中心及保護之樞紐  
 十四、北平之特殊地位在於其為我國之未來中心及發展之樞紐







# 紀念「七七」

## 迎接祖國民主自衛戰爭的勝利！

安居北望和平寧靜中的同胞們！今天是祖國「七七」抗戰十週年紀念日。我們的祖國正處在漫天炮火中。從十年前  
的七月七日算起我們全國的抗日將士和海內外同胞。流血流汗。和敵人苦戰了八年。才取得了最後勝利。才保衛了祖國獨立  
我們對子孫傳祖國的「人民英雄」。實在感佩。對子孫犧牲了的將士同胞。無限哀悼。  
同胞們！從「七七」開始的八年抗日戰爭。是我們祖國命運的重大關頭。是中國人民的生死關頭。我們自己和我們的  
子孫要永遠銘記這一歷史。

我們中國是地大物博人口衆多的國家。世界上的強國們都想侵略佔領他。  
自從民國十六年以來。蔣介石破壞了革命的「三民主義」破壞了第一次國共合作。勾結帝國主義。反對人民。打共產黨。  
以便進行他獨裁專制的企圖。就在這樣的情況下。引進了日本帝國主義。發生了一九三一年「九一八」事變。更由於蔣介石政府的  
不抵抗。日本就毫不費力地佔了東三省。第二年又來打上海。再過一年侵入察河。察哈爾。蔣介石政府還是不抵抗。  
日本佔了東三省。就製造東北人民組織義勇軍發展遊擊戰並向國民黨請願。中國快亡了。自己不要打個個同胞  
去打日本罷！」連聲叫好幾大。蔣介石不理會。共產黨又向全國各界提出來。我們組織「抗日民族統一戰線」制止內戰  
去救國家！許多社會領袖和各界人士都贊成了。可是蔣介石不答應。罵着成抗日的人士就是共產黨。將他們關起來。愛國人士  
和學生們。不顧一切。發動了「一二·九」學生愛國運動。國民黨的愛國軍人張學良等也贊成共產黨團結抗日的主張  
並有十一年前舉行了西安事變。這將蔣介石不得不才停止了內戰。

過了十一年。民國二十六年。日本又侵入華北。七月七日。又發動了盧溝橋事變。炮火一响。全國對日抗戰就開始了。  
但是。這次全國團結抗戰。蔣介石原來是不願參加的。他心裏想獨佔之。消滅異己。保存實力。企圖維持其獨裁統治  
不願打日本。準備隨時我機會打共產黨和人民自己的軍隊八路軍和游擊戰。表面上抗日。暗地裡勾結敵人。並派大批國民  
黨軍人和軍隊投降敵人。與敵勾結。共同來進攻人民和八路軍。第四軍軍長胡景翼。去年對蔣介石更親手做  
造了「兩河軍變」。與敵勾結。殺死了成千萬的抗日有功的新四軍將士。蔣介石幾次想進攻蘇聯。企圖投降。而被共產  
黨所揭發被人民力量所制止了。

共產黨呢！自從開始抗戰。便將蔣介石領導的紅軍改爲八路軍。新四軍。地處民團併排戰。一上前後。便在軍事上給予他  
大勝仗。改變了全國的局勢。除了日本的一二九亡命論。後來它不斷地敗退蔣介石的放蕩的國土。並組織了民衆。堅持  
敵後游擊戰爭。八路軍新四軍等。抗戰者日見其多。華北的百分之六十四。和華南的百分之九十五。國民黨只佔百分之三  
十。約的日軍和百分之五的游擊戰。在八年抗戰中。八路軍新四軍消滅敵軍一百三十六萬餘名。解放了一萬四千多人的  
敵軍。收復了二百多個縣城。解放區普遍達到十萬餘名。這建立了十九個抗日民主政府。到了前年八月十五日日本投降後。蔣  
介石下令叫八路軍新四軍不要動日本人民。維持秩序。可是八路軍新四軍的軍隊都有敵人。的獨斷專行。在兩個月中。又  
收復國土三千一萬五千餘平方公里。解放人口一千八百七十餘萬。收復城市一百六十餘個。

抗日戰爭勝利了！這勝利是全國人民和海外僑胞流血流汗用體力拼來的。是毛主席領導共產黨發動的抗戰。領導東北和  
全國人民抗戰的勝利！是八路軍新四軍用血肉換來的！  
可是。同胞們！我們真想不到。八年犧牲苦戰換來的祖國獨立。被蔣介石集團所賣給了美帝國主義！創傷未復的國土。  
又被內戰的烽火破壞。先烈鮮血和血淋淋的抗戰成果。被獨裁者蔣介石搶奪完了。我們流過汗。流過血的同胞又被  
敵方地方趕到內戰戰場上去送死。在八年抗日中。衣食不用的同胞。現在更成批成批地死和自殺這是誰造成的？這是一心  
只爲自己發財。爲自己嗜在人民頭上吸人民膏血爲所欲爲的蔣介石獨裁集團造成的。

因爲。八年抗戰後。中國人民要翻身了！因爲。在中國解放區種人民已經得到了民主權利。選擇了自己的政府。建立了人  
民的軍隊。解放區裡實行了民主改革。沒有地的得了地。沒有錢的得了錢。做買賣的天天發達。  
解放區裡農衣充足。成了人民的天下！蔣介石一看。感覺「不好！我的獨裁做不成。我的威權要垮了！於是  
只等抗戰一停。就一面假意和共產黨談判和平統一。一面就向美國借債要軍火。調兵遣將進攻解放區人民。  
展開了全面內戰。

但是。美國的錢和軍火原不是白給的。他也跟日本一樣。要他把中國吞下成殖民地。蔣介石爲了打中國人民。只得訂立了  
中美商約。將中國主權完全出賣。換來美國的軍火金錢。他又訂了無數的惡劣做戰費徵收糧食占領的糧食來做軍糧。抓了成百  
萬壯丁去送死。這樣一來。蔣介石當然工商業倒閉了！再地荒蕪了！糧食短少了！人民餓死了！不願被死的和戰死  
的人民都起來鬧爭學生起來。罷課。工人罷工。教員罷教。來反對他反對內戰了！

沒飯吃的人起來搶米。罷課。罷工。南京近郊都發生了民變了！  
連他坐鎮的南京上海都搶米。罷課。罷工。南京近郊都發生了民變了！  
身方面。解放區人民爲了保衛國家。保衛他們已得到的幸福生活。展開了英勇堅決的抵抗。蔣介石一共用了二百二十三個  
旅進攻解放區。只剩二十三個旅守備區後方。可是二百二十三個旅。不到一年就被人民解放軍滅滅進一百個旅。幾乎一半  
剩不來的。一百多個旅能得幾下滅滅呢？

相反的人民解放軍却越打越強大。戰術越打越進步！因爲他們保衛人民的利益。人民就擁護他。就從人民那裡得到無  
窮無盡的補給力量。現在人民解放軍已有正規軍三百餘萬。民兵游擊隊三百餘萬人。他們已把從將軍那裡繳獲的槍械將自己  
武裝了起來。廣大人民。在二百二十萬共產黨員的領導下。一定能擊決。徹底乾淨消滅人民的敵人！而且這一天也不會很  
遠。

同胞們！爲了保衛我們自由民主的生活。我們要用一切力量支援祖國人民反獨裁反賣國的自衛戰爭。盡一切力量徹底消滅蔣  
聯合的進犯軍。

口 號

- 一、紀念七七。北朝鮮全體同胞。團結起來。積極支援祖國獨立。和平。民主運動！
- 二、紀念七七。反對獨裁。反對賣國的蔣介石！
- 三、紀念七七。擁護中國人民領袖毛主席。及其領導的人民解放軍！
- 四、紀念七七。反對美國干涉中國內政。美立即撤出中國去！
- 五、建立真正民主的聯合政府！
- 六、中國人民愛國自衛戰爭勝利萬歲！
- 七、獨立和平。民主。富強的新中國萬歲！







秘  
秘

一九四七年五月十五日

情報部

...

贈錄江對岸「中國人民軍中央軍」

非法行為調查

北朝鮮人民委員會秘書長

東亞部 權英

北朝鮮人民委員會秘書長





鴨綠江對岸中東軍不法行為の調査材料

- 一、九四八日五月十五日午後一時頃江東縣滿浦守備隊官の美地岸の江中東軍本部の不法越境の朝鮮人民の証言材料あり。故處海軍本部。
- 二、九四八日五月十五日午後一時頃滿浦守備隊の美地岸の江中東軍本部の不法越境の証言材料あり。但被害隊員あり。
- 三、九四八日五月十五日午後一時頃美地岸の江中東軍本部の不法越境の証言材料あり。保甲隊員の証言材料あり。根拠あり。
- 四、九四八日五月十五日午後一時頃美地岸の江中東軍本部の不法越境の証言材料あり。証言あり。
- 五、九四八日五月十五日午後一時頃中東軍本部の不法越境の証言材料あり。証言あり。
- 六、九四八日五月十五日午後一時頃中東軍本部の不法越境の証言材料あり。証言あり。
- 七、九四八日五月十五日午後一時頃中東軍本部の不法越境の証言材料あり。証言あり。
- 八、九四八日五月十五日午後一時頃中東軍本部の不法越境の証言材料あり。証言あり。
- 九、九四八日五月十五日午後一時頃中東軍本部の不法越境の証言材料あり。証言あり。
- 十、九四八日五月十五日午後一時頃中東軍本部の不法越境の証言材料あり。証言あり。
- 十一、九四八日五月十五日午後一時頃中東軍本部の不法越境の証言材料あり。証言あり。
- 十二、九四八日五月十五日午後一時頃中東軍本部の不法越境の証言材料あり。証言あり。
- 十三、九四八日五月十五日午後一時頃中東軍本部の不法越境の証言材料あり。証言あり。
- 十四、九四八日五月十五日午後一時頃中東軍本部の不法越境の証言材料あり。証言あり。
- 十五、九四八日五月十五日午後一時頃中東軍本部の不法越境の証言材料あり。証言あり。
- 十六、九四八日五月十五日午後一時頃中東軍本部の不法越境の証言材料あり。証言あり。
- 十七、九四八日五月十五日午後一時頃中東軍本部の不法越境の証言材料あり。証言あり。
- 十八、九四八日五月十五日午後一時頃中東軍本部の不法越境の証言材料あり。証言あり。
- 十九、九四八日五月十五日午後一時頃中東軍本部の不法越境の証言材料あり。証言あり。
- 二十、九四八日五月十五日午後一時頃中東軍本部の不法越境の証言材料あり。証言あり。

北朝鮮人民委員會外務局

- 一、九四八日五月十五日午後一時頃中東軍本部の不法越境の証言材料あり。証言あり。
- 二、九四八日五月十五日午後一時頃中東軍本部の不法越境の証言材料あり。証言あり。
- 三、九四八日五月十五日午後一時頃中東軍本部の不法越境の証言材料あり。証言あり。
- 四、九四八日五月十五日午後一時頃中東軍本部の不法越境の証言材料あり。証言あり。
- 五、九四八日五月十五日午後一時頃中東軍本部の不法越境の証言材料あり。証言あり。
- 六、九四八日五月十五日午後一時頃中東軍本部の不法越境の証言材料あり。証言あり。
- 七、九四八日五月十五日午後一時頃中東軍本部の不法越境の証言材料あり。証言あり。
- 八、九四八日五月十五日午後一時頃中東軍本部の不法越境の証言材料あり。証言あり。
- 九、九四八日五月十五日午後一時頃中東軍本部の不法越境の証言材料あり。証言あり。
- 十、九四八日五月十五日午後一時頃中東軍本部の不法越境の証言材料あり。証言あり。
- 十一、九四八日五月十五日午後一時頃中東軍本部の不法越境の証言材料あり。証言あり。
- 十二、九四八日五月十五日午後一時頃中東軍本部の不法越境の証言材料あり。証言あり。
- 十三、九四八日五月十五日午後一時頃中東軍本部の不法越境の証言材料あり。証言あり。
- 十四、九四八日五月十五日午後一時頃中東軍本部の不法越境の証言材料あり。証言あり。
- 十五、九四八日五月十五日午後一時頃中東軍本部の不法越境の証言材料あり。証言あり。
- 十六、九四八日五月十五日午後一時頃中東軍本部の不法越境の証言材料あり。証言あり。
- 十七、九四八日五月十五日午後一時頃中東軍本部の不法越境の証言材料あり。証言あり。
- 十八、九四八日五月十五日午後一時頃中東軍本部の不法越境の証言材料あり。証言あり。
- 十九、九四八日五月十五日午後一時頃中東軍本部の不法越境の証言材料あり。証言あり。
- 二十、九四八日五月十五日午後一時頃中東軍本部の不法越境の証言材料あり。証言あり。



各部別不法行為統計表 1947.5.7日

部名	不法越境	不法渡航	不法越境及探	承認領案	備考
江島郡	六	二		一	我領地人民先佔 生毛先佔 物品奪去
楚山郡	一	(生毛先佔 不法渡航等)			
溇原郡	一	四			我領地人民先佔
朔州郡				一	
義州郡		一	二		我領地人民先佔 物品奪去
龍川郡	一	一	五		我領地人民先佔 物品奪去 二回
計	九	二	七	二	

北朝鮮人民委員會事務局

SHIPPING ADVICE # 2006  
 DATE 11/20/81  
 ITEM # 36

Batch No. 109  
 Item No. 11

113 11